

令和6年度 第1学期終業式 校長講話

おはようございます。令和6年度第1学期は、4月7日にお亡くなりになられた農業土木科の谷口晋一郎先生の御冥福をお祈りする黙祷から始まりました。特に農業土木科と男子テニス部の2・3年生にとりましては、淋しい思いでいっぱいスタートだったと思います。

本校に17年間お勤めになられた谷口先生は進路指導部長として、すべての学科の進路指導のことや男子テニス部のことについて、いつも気に掛けていらっしゃいました。生徒の皆さんは、これからも谷口先生の思いに応えるよう、学校生活を送ってほしいと思います。

それでは終業式に当たりまして4つ話します。

一つめは3年生へのお願いです。県高校総体、九州高校総体、農業クラブ県連大会、夏の県高校野球選手権大会に臨んだ皆さんですが、全力を出し切って満足したという人だけではなく、「悔いが残った」という人も少なくないと思います。文化部や一部の運動部にはこれから3年生が出場する大会があります。継続して練習に励み、納得いく結果を出せるよう頑張ってください。

引退する3年生に大事なことは、部活動の経験を次の目標に活かすことです。しっかりと進路実現の方へ気持ちを切り替えて、計画的な進路対策に取り組んでください。

部活動をしながら進路対策に取り組む予定の3年生は、1分1秒を無駄にしない集中力が必要です。いずれにしても、この夏休みが勝負であるという心構えを大切にしてください。

二つめです。最高気温が35℃を超える日が珍しくなくなりました。そこで川に行って泳ぎたくなる人がいるかもしれません。都城市内の川はすべて遊泳禁止になっています。見た目では流れの速さや深さがわからず、泳ぎの得意な人でも水死することがあります。

また、関連しまして大雨や落雷事故が発生しやすい時期でもあります。4月には県内で、部活動中の落雷により、高校生18人が病院へ搬送されるという事故が発生しています。自然災害から身を守る行動をお願いします。

三つめです。私がとても残念に思っていることがあります。それは、地域住民から寄せられる苦情です。スマホを使いながらの自転車利用、公共施設や街中での過ごし方というものですが、多くの大人たちはその場で注意しません。それを良いことに身勝手な行いをする人がいるのが残念です。

いつも言うように、そういう生徒のいる学校は地域から応援されなくなります。「都城農業高校がここにあって良かった」、「都城農業高校の生徒は地域の誇り」と言われるような、小・中学生だけではなく、大人の手本にもなる振る舞いをお願いします。「特別なことをしてください」と言っているのではなく、「当たり前のことをしてください」と言っています。

校訓の「自他敬愛」の精神を忘れないでください。

7月4日に「学校評議員会」がありました。その時、ある評議員の方が「国立病院前を歩いて自転車通学をしている都城農業高校の生徒は左側通行を守っていてマナーがよい」とほめていただきました。

2学期はこういう声がたくさん聞かれるようお願いします。

最後です。当番実習、インターンシップ、部活動等で自転車に乗る機会が多いと思います。交通事故に気を付けてください。自動車との事故、自転車同士の事故、歩行者との事故等が想定されます。

高校生が自転車で歩行者を死亡、あるいは障害が残る被害を与えた事故で、数千万円から1億円近い損害賠償の請求がなされた事例があります。このようなことになれば、一生を罪の償いのために生きていかななくてはならないのは当然のことです。お金だけで解決する問題でもありません。

自転車に乗りながらスマホを使っていて歩行者に怪我をさせてしまった場合、「気の緩み」とか「うっかりミス」では済まされません。

自転車利用時のヘルメット着用についても保護者と話し合ってください。ヘルメットの購入率が100%近い高校もあると聞いています。

自分の命と他人の命のどちらも大切にしてください。

熱中症、新型コロナ等の感染症、交通事故、水難事故、自然災害等から積極的に身を守り、2学期は全員揃って、笑顔でいっぱい始業式が迎えられようお願いします。

併せまして、8月1日の登校日にオープンスクールの準備をします。せっかくの夏休みと思いますが、全校生徒の協力をお願いします。

以上で、私の話を終わります。

令和6年7月19日
宮崎県立都城農業高等学校
校長 山下 勉